



SERVE TO CHANGE LIVES

奉仕しよう
みんなの人生を豊かにするために

2021～22年度テーマ



中村ロータリークラブ

例会記録 (2021～2022)

会 長/井 上 克 彦
幹 事/嶋 村 晃
会報委員長/島 本 正 人

創 立/昭和38年10月2日
例会日/水曜日 12:30～13:30
例会場/新ロイヤルホテル四万十
事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F
TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553
●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2703

第2834回 令和4年6月8日(晴れ)

本日のプログラム：委員会活動報告

6月15日(水)：東 邦彦ガバナー「国際大会報告」

6月22日(水)：2021-2022年度最終例会

【会長挨拶】井上克彦会長

- ・最近、幡多地方でのコロナ感染者数が気になります。気をつけて過ごしましょう。
- ・本日はイソップ童話の話です。イソップ童話は紀元前6世紀頃、古代ギリシャの奴隷だったアイソーポスが、人々に語ったとされる寓話です。物語には教訓や風刺が盛り込まれていて、子どもだけでなく、大人もドキッとさせられるものがあります。その中で有名なお話に「ウサギとカメの競争」があります。ウサギは油断して昼寝をしてしまった。カメはコツコツと進んでウサギを追い越してしまいます。これは単にウサギの油断で終わる話ではないのです。ウサギとカメは「見ているところが違った」という事です。ウサギはカメに油断しましたが、カメはウサギを見る事なくゴールを見ていたのです。つまり、ゴール(目標)は何かをしっかりと見極め、競争相手に惑わされる事なくゴールを目指す事の重要性です。童話は世界の子どもたちに読まれてきましたが、大人こそ童話の深い世界を読み取り、表面的ではない事の本質を考えてみるべきだと思います。

【幹事報告】嶋村 晃幹事

- ・国際R日本事務局財団室より
嶋村晃会員へマルチプル・ポール・ハリス・フェロー受賞(襟ピンの贈呈)
- ・ガバナーエレクト事務所より
次年度「地区活動計画」冊子料のお願い(お一人様1,000円)
- ・四万十RCより
3RC親睦レクレーション中止のお知らせ



嶋村晃幹事、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー受賞おめでとうございます。



【本日のプログラム】 本年度「委員会活動報告」

本日のプログラムは、本年度の委員会報告です。クラブ計画書に基づき、各委員長より報告をいただいた。年度当初よりコロナウイルス感染症の影響により、例会はもとより各委員会の事業やイベント等は中止を余儀なくされた。特に親睦委員会では、家族レクレーションや厄除け・長寿祝などの親睦活動がほとんど開催できなかった。

本年度の各委員会はそれぞれ計画を立てていたにもかかわらず、予定通り実行できなかったが、次年度は活動できるように願っています。



永木 寛
国際奉仕委員長



稲田 玲子
職業奉仕委員長



荒川 泰士
社会奉仕委員長



川村 公彦
環境保全委員長



山崎 隆之
青少年奉仕委員長



田辺 豊
野球同好会委員長



一藤 勝之
R財団年次寄付担当



白木 久雄
米山奨学副委員長



大杉 幹夫
SAA会場監督



明神 三幸
会計委員長



弘内 英一郎
会員増強委員長



梅原 薫
出席委員長



久保田 美世
親睦委員長



星野 努
プログラム委員長



杉本 一博
ロータリー情報委員長



上野 力
会報副委員長



川邊 浩之
広報・IT委員長

各委員長様、お疲れ様でした。

【ニコニコ箱】

井上会長：昨日の高知新聞『窓』に浦田さんが出ていました。地域に根ざした写真館、素敵ですネ。

浦田会員：昨日の高知新聞にカラー写真で掲載いただきました。芝野支社長ありがとうございました。

大塚会員：昨日の高知新聞に浦田さんが掲載されていました。実年齢より10歳くらい若く見えました。

【出席報告】 ・会員総数53名（免除会員6名）

・本日の出席/30名 69.77%

・先週の訂正 MU4 72.72%→81.82%